

人権教育啓発指導者専門講座

研 座 演 沙 資 映 他 体 ワ

長崎県教育委員会
長崎県県民生活部人権・同和对策課※
TEL 095-826-2585

実施年月日 実績等	前期 第1回 平成16年 8 月 4 日(水) 第2回 平成16年 8 月 5 日(木) 後期 第3回 平成16年10月13日(水)
主催(共催)	長崎県教育委員会
開催場所	長崎県教育センター
対 象	市町教育委員会人権教育担当者、教職員、社会教育関係職員 原則的には、県央・島地区が対象だが、他地区からの参加も受け入れた。
人権課題	人権全般

※長崎県教育委員会人権・同和教育室は、平成17年4月、知事部局の人権・同和对策室と統合し、人権・同和对策課に改組した。

事業の目的

過去9年間にわたり、人権教育の指導者養成講座を開催し、270人以上の修了者を輩出したが、知識や技術はあっても、自信がないなどの理由で、研修会等の公的な場で指導するまでには至らない者も多い。そこで、新規の参加者ばかりでなく、講座修了者も対象に、各市町の実態に応じた人権・同和教育を体系的に推進するために、研修会等の企画立案や指導に関する専門的な指導方法を具体的、実践的に習得できるようにした。

事業概要

人権教育の主な3つの手法である、「講義」、「フィルムフォーラム」、「ワークショップ」のそれぞれの特徴に応じた企画作成と実践の方法を学ぶ。後期には、参加者自らがプランを立てたものを発表し、互いに意見を述べ合う。

前期

第1回

- 開会行事およびオリエンテーション

- 演習「指導者の活動状況 コース別啓発プランづくり」
- 講義「教える立場で考えるわかりやすい話し方」
- 講義「人権・同和問題の現状と課題—部落の歴史認識」

第2回

- 演習「コース別啓発プランづくり」
- 講義「私の実践」
- 後期演習に向けてのオリエンテーション

後期

第3回

- 演習「コース別啓発プランの体験と研究協議」



講座の様子



- まとめ「各個人プランについてのまとめ」
- 講義「指導者に期待すること」
- 閉会行事

連携状況

NPO法人等に講師派遣を依頼した。

特色・工夫した点

指導者にとって最も関心の高い人権問題を取り上げ、それぞれが選択した啓発の手法を用いて展開事例を作成し、発表した。お互いの発表を聞いて、意見を述べ合い、今後の参考とした。

話し方のプロである元アナウンサーを講師に招き、自分の思いや考えを相手に伝えるための効果的な方法について学べるようにした。

積極的に活躍されている先輩指導者から、実践例を直接聞く場を設けることで、研修、啓発に対する意欲を高め、今後、ぶつかりやすい問題点などを学べるようにした。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

受講者の研修に対する意欲は高かった。指導者として積極的に活動していくという強い意欲も見られ、大変頼もしく思われた。今後とも、各市町村に対して指導者の存在を強くアピールするなどして活動の場を広げていきたい。

参加者の感想は、次のとおり。

- 指導者の基礎・基本にかかわる話を聞けて、大変参考になりました。話の内容を折に触れて思い返し、今後の活動に生かしていきたいと思えます。自分自身を振り返る力を日々磨いていくことの大切さを再認識させていただきました。
- 人権教育指導者の原点を改めて振り返ることができて、一層

努力しなければならないという思いを強くしました。
○こうした機会を設定していただき感謝しています。今後もこうした研修会などの学習の機会を継続的に設けていただくことを期待します。指導者の組織が各市町に広がれば、啓発活動がさらに容易になるのではないかと思います。

反省点・今後の課題

今ひとつ自信がなかった指導者も積極的に各市町の実態に応じた研修・啓発ができるようにするため、市町および教育委員会に対して人権教育推進の働きかけを行ってきたが、市町村合併などで多忙な時期であったこともあり、自発的に応募した者が少なかった。そのため、主催者が人権教育に関して、今後の活躍が期待できそうな人を探すこととなった。今後は、人権教育指導者のすそ野を広げる必要があると思われる。様々な分野に携わる人々から応募者を募り、自主的な応募者が増えるよう、広報活動をしていくつもりである。生涯学習という視点に立てば、教職員などは人権指導者として適切と思われる。

また、これまで指導者となっても、活躍の場を見出せずにいる者も多い。我々が市町村と指導者の仲介役となって、人権教育の普及を進めていきたい。

指導者を活用し、地域の実態にもとづいた人権・同和教育を推進するために、今後も人権に関する多彩な専門講座を継続していくつもりである。

